

<b>■After</b> 建築名称 下段: 英語名		スパイスモーターオキナワ SPICE MOTEL OKINAWA			
建築用途		大分類 宿泊施設	小分類 ホテル		
改修設計者		アートアンドクラフト		<a href="#">URL</a>	
所在地		沖縄県中頭郡北中城村喜舎場1066		<a href="#">Google Map</a>	
改修年		2015年		After デザインホテルとして生まれ変わった外観 撮影者 提供:アートアンドクラフト 提供者 撮影年:2015年	
建築規模		ホテル本館(2階建):1F 397.28㎡(120.1坪) 2F 177.61㎡(53.7坪)		概要 after 十分に除塩されないままの海砂が生コン用の資材として使われ、長持ちしないと思われていた沖縄のRC造が、ここまで再生できることを示した事例	
掲載書誌					
関連事項					
<b>■Before</b> 建築名称		ホテル喜舎場		概要 before 本土復帰前の1970年建築の鉄筋コンクリート造モーター	
建築用途		大分類 宿泊施設	小分類 モーター		
<b>■写真</b> Before 使えない部屋も多く、稼働している客室はわずかでした		After 物置と化していた離れをカフェに		After 以前は使えなかった駐車場の屋根を開放感あるテラスに	
					
撮影 提供:アートアンドクラフト 提供者 撮影年:2015年		撮影 提供:アートアンドクラフト 提供者 撮影年:2015年		撮影 提供:アートアンドクラフト 提供者 撮影年:2015年	
<b>■リノベーション内容</b>		キーワード 大規模改修、補強	内容 沖縄には独特の建築文化があります。風土を意識した建物や、アメリカ文化に影響を受けた建物。その多くはコンクリート造であることが特徴ですが、1975年頃をピークに十分に除塩されないままの海砂が生コン用の資材として使われていた事実があり、そのためか「鉄筋コンクリートも大して長持ちしない」と思い込んでいる人も多いのが実情。本土とは違ったあたらしいリノベーションに出会いたい。既存建物のリノベーションを仕事とする会社として、沖縄のコンクリート建物を放っておけない。そんな思いから本土復帰前の1970年建築の古びたホテルを全面的な改修に挑みました。相当傷んだ状態でも、適切な手入れを施せばここまで再生できる、この事例を通して沖縄の不動産オーナーの意識を少しでもリノベーションに向けることができたらと願っています。		
<b>■備考</b>					
<b>■作成者</b> 氏名/所属		佐藤 亜希子/アートアンドクラフト		管理者 記載	